

■事績

「書の甲子園」と呼ばれる国際高校生選抜書展において全国優勝や準優勝に輝き、平成19年からは四国地区で優勝を続けるなど、全国的な書道の強豪校として知られる。単にきれいに文字を書くということを越え「自己を見つめ人間的に成長すること」を目標に、年間数回の公募展への出品作品の制作を中心に活動している。

「書道はおとなしく書くもの」という偏ったイメージを払拭し書の魅力を一般の人たちにも広く伝えることを目的に、音楽に乗って大きな紙に力強く筆を走らせる書道パフォーマンスを行っている。地元・四国中央市で開かれる「書道パフォーマンス甲子園」でも優勝を飾り、センバツ高校野球の四国勢出場校のプラカードも揮毫した。去年には書道部をモデルにした映画も公開され、紙のまちのPRに一役買った。

古典の書風を習得し新たな自己表現に取り組む活動のモットーは「線のゆるさは心のゆるさ。形のゆがみは心のゆがみ。落選を恐れるな。おのれに負けることこそ恐れよ。自分の弱さを見つめ、たましいを磨け！」半世紀以上の歴史を誇る書道部は、ひたむきに「人間力」の研鑽を続けている。

■主な受賞歴

- ・国際高校生選抜書展（団体）
 - 全国優勝（平成15、16年度）
 - 全国準優勝（平成14、19年度）
 - 四国地区優勝（平成17、20、21、22年度）
- ・書道パフォーマンス甲子園
 - 優勝（平成20年）
 - 準優勝（平成21年）
 - 審査員特別賞（平成22年）